

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                             |    |                |
|----------------|-----------------------------|----|----------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA小郡南校 |    |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年 12月 2日                |    | ～ 2025年 1月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 38 | (回答者数) 38      |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 1月 4日                 |    | ～ 2025年 1月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 9  | (回答者数) 9       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 1月 30日                |    |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|---|---|
| 1 | 運動支援が充実している点が強みです。パルクールやリズムジャンプなど、様々な運動支援を定期的に行っており、心身両面での成長につながっています。また、週に一度理学療法士による運動支援も行っており、より専門的な運動支援が行うことができます。 | 運動支援の日(火・木)とそれ以外の活動の日(月・水・金)を分けて実施することによって、児童の特性や必要な支援に応じた利用日の設定を行うことができるようにしている点です。<br>幅広い活動のほかに、定期的実施する活動(パルクール、リズムジャンプなど)を | 定期的に行う活動をより明確な形にすることによって、よりその活動を必要とする児童に対して焦点を当てた支援を行うことができるようにいたします。                               |
| 2 | 野菜の苗植え、収穫を行っており、日常的に自然に触れ豊かな感性を育むことができます。   | 季節の野菜や旬の野菜を育てることによって、自然に触れる体験とともに、普段食べている食材についての知識も身につけることができるようにしている点です。   | 季節の野菜や旬の野菜に関する事前学習を行ったり、収穫した食材を用いてクッキングを行ったりすることによって、より身近な食材についての知識を深めるとともに、食育につなげることができるようにしていきます。 |
| 3 | 利用児童が多く、年齢にも幅があることを生かした縦割りの活動や集団生活の経験を通じて、コミュニケーション能力や社会性を育むことができます。  | 活動の際の各グループの人数(ペアやグループなど)や学年の組み合わせ(同学年や縦割りなど)を工夫することによって、同じ活動であっても目的に応じて活動の形式を柔軟に変えている点で                                       | グループ別に異なる活動を行ったり、グループ間での意見交流の機会を設けたりすることによって、より目的を効果的に達成することができるようにしていきます。                          |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること         | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 人数が多いことによって、職員の目が行き届きにくく、児童同士の接触等による怪我のリスクが高いことです。 | 活動に合わせたエリア分けなど明確にして、安全管理を徹底していきます。また、そのことを児童に分かりやすく周知していきます。 | 会議にて、活動場所を分ける話や児童が安全に過ごすための動きの確認を行いました。そのうえで、児童も含めて話し合う場を作っていきます。 |
| 2 |  |  |   |
| 3 |  |  |   |